

広報さくら

◆◆第101号◆◆

平成28年3月1日

発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- 一年を振り返って…………… 学校長 …… 2
- 一年を振り返って…………… 会 長 …… 3
- 体育祭…………… 4～7

- 強歩大会…………… 8～11
- 後援会活動報告…………… 12

「夢は、吐いて、叶えるもの」



卒業おめでとうございます。

お子様が本校の課程を無事終了し、ここに新たな出発点に立たれたことを心から祝福申し上げます。

3年前の若木は大地にしっかりと根を張り、養分を吸収し、枝を伸ばし、年輪を刻み、高みに向かって成長をしてきました。そして、その成長は周囲の力、とりわけ陰で支えてこられた保護者の力があってからこそと思います。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、今後もお子様を「付かず離れず」、適切な距離をもって見守っていただきたいと思います。

卒業生の皆様には『「夢を持て!」、そして自分の夢を大切にしよう』を送ります。

しかし、夢は不思議なもので、そのまま心にしまっておくと、徐々にしぼんでいってしまいます。「どうせ俺なんか…」「私には無理だ…」そんな声が木霊(こだま)し始めるのです。

自分の大きな夢をまず、言葉に出して言うてみることです。「吐(は)く」は心の中のコトを言葉に出すことの意です。心の中を「吐」き出してみる、声にしてみると、何故か夢の実現に向けてのマイナス要因が明らかになってきます。「〇〇をしたいんだが、△△だから無理かな…」と、自分の心の中で夢を阻止しているモノがはっきり姿を現します。そこで、マイナス要素を取り除く努力をするのです。

人間はとにかく、できない理由を周囲のせいにしたがります。あえて自分から心のマイナス要素を排除すると、「吐」からマイナスが取れて「叶」の字になります。皆様の夢が「叶(かな)う」のです。

「夢は、吐いて、叶えるもの」意味の深い教えだと思います。教訓にしてください。

人は皆それぞれが、かけがえのない存在意義をもってこの世に生を受けました。生徒各人が持てる能力を十分に発揮し、有為な人材として活躍されることを教職員一同祈念いたします。

最後になりますが、これまでの本校に対するご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも本校を叱咤激励していただければ幸いに存じます。



娘が本校に入学し、私も高校生活を感じる事の出来る後援会の役員を引き受けることになりました。そして昨年5月の後援会総会にて平成27年度後援会会長と言う大役を仰せつかり、早いもので今年度もあとわずかで終わろうとしています。高校での後援会活動はまったく想像出来ませんでした。後援会の皆様にご協力をいただき、また校長先生を始めとする諸先生方にご指導頂きながら無事に3年間を終えようとしています。

この一年を振り返ってみますと、始めに研修部の企画による日本大学への見学(本校のアピールも兼ねる)があげられます。

本年度は、津田沼にある生産工学部へお伺いしました。大学からは、学部長をはじめとする先生方に迎え入れて頂き大学の方針、説明をして頂きました。保護者は、実学教育の興味深い内容に身を乗り出して見入っていました。この素晴らしい教育環境を体験し、学部関係者との交流を深めることで、一つの目的は達成出来たのではないかと感じています。

また、奥秋校長先生を始めとする教職員の方々にも多数参加して頂き、後援会との交流もはかれ充実した研修会となりました。

後日、今回の訪問の記念として生産工学部から「ニュートンのリンゴの木」が明誠高校に送られました。数年後に立派なリンゴの実が出来る事を楽しみにしています。

次に生徒達が日頃お世話になっている地元の方々への感謝の気持ちを込めて行う、恒例の誠祭で行うバザー事業です。

毎年楽しみに来られるお年寄りの姿、掘り出し物を見つけた時の嬉しそうな笑顔を見た時、バザー事業の意味合いを感じる事が出来ました。

あわただしい2日間でありましたが、準備から販売までご協力いただいた関係各位の方々をはじめ、バザー品の提供を頂きました保護者の皆様を始め後援会OBの皆様方、野球部・サッカー部の保護者会の皆様に心より感謝申し上げます。

次の事業としては、学校行事である強歩大会においてコース管理や生徒達への声援、豚汁作

りを行いました。当日は、朝早くから豚汁作りを始め子供達の帰りを待ちました。どの子供達も笑顔で美味しそうに食べている姿が印象的でした。寒い中での開催でしたが、皆様の良き思い出に残る大会であった事と思っております。

最後の事業は、卒業式のあとに、京王プラザホテルにて行われます卒業謝恩会です。

今(執筆時)は、3年間お世話になった先生方に感謝の気持ちを伝える為に準備に追われています。当日は、盛大に行われている事と思います。

最後になりますが、3年間の後援会活動を通じて多くの人との出会いがあり、後援会での活動は、私にとって貴重な経験であり、大きな財産となりました。

会長としては、いたらない部分も多々あった事と思いますが、後援会活動に多大なるご尽力を頂きました校長先生を始めとする教職員の方々や後援会の皆様には、心より感謝申し上げます。

今後益々の明誠高校の発展と後援会のご活躍を祈念致します。

一年間ありがとうございました。





開会式



準備体操



80m徒競走



色別(ブロック)二人三脚リレー



玉入れ



大縄跳び



障害物競走



棒倒し



大縄跳び



クラス対抗全員リレー



部対抗リレー



色別(ブロック)対抗応援合戦



綱引き



ムカデ競争



ムカデ競争



大縄跳び



台風の日



棒引き



騎馬戦



色別(ブロック)対抗リレー



閉会式

強歩大会支援活動報告

実行委員長 森田 健司

本年度の強歩大会は2月20日(土) 予定通り開催されました。

私たち実行委員会が本格的に活動したのは、11月からです。11月の学年別委員会において、どのようなイベントで何をすれば良いかピンときていない1学年役員・委員のために、昨年担当された2学年役員さんによる素晴らしいプレゼンがあり、一気に火がついてしまいました。

前日準備は寒い中、冷たい水での洗い物、食材の仕込みおよびテント張りを賑やかに行いました。当日は、野球部とサッカー部の保護者の皆様

にご協力いただきながら、先生方とともに各所にて、コースを激走する生徒達の安全確保のための誘導と励ましの応援を行いました。そして1,000食の豚汁も最高の味で完成し、おにぎりとともに美味しそうに食べている生徒達を見て、私たちも最高の思い出になりました。

最後に大会の支援に協力していただいた役員、委員、保護者の方々、また、運営に尽力くださった先生方に厚く御礼申し上げます。これからも後援会活動にご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



強歩大会のコースはこんなところ！







平成27年度 後援会活動報告

平成27年

- 5月 後援会定期総会
第1回役員会・学年別委員会
- 6月 後援会研修会(生産工学部訪問)
誠祭バザー・お茶処 準備
誠祭バザー・お茶処 実施
- 7月 「広報さくら」 発行 100号
- 9月 祭典パトロール
- 10月 体育祭
- 11月 第2回後援会役員会
委員総会・学年別委員会

平成28年

- 1月 賀詞交歓会
- 2月 強歩大会豚汁 準備
強歩大会豚汁 実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」 発行 101号
- 4月 入学式
第3回役員会
- 5月 第4回役員会・後援会定期総会

～編集後記～

今年度も無事に「広報さくら」を発行出来ました事を広報部員一同、心より感謝申し上げます。

また、お忙しい中、原稿をお寄せ下さった先生方、後援会の皆様、発行にあたりご協力頂いた方々に心よりお礼を申し上げます。

今後とも、子供たちの充実した学校生活の様子を伝えられる様、広報部員一同務めてまいります。1年間、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。(広報部員一同)

